資料3

令和８年度第１回「健康食品」による健康被害事例専門委員会からの報告

1　開催日時等

令和 8 年 6 月 24 日（水曜日）午後 2 時 30 分から午後 4 時 00 分まで（オンライン開催）

事務局設置場所：健康安全研究センター本館 6 階会議室

2　議事及び報告事項

（1）議事：事例の検討について

令和 8 年 5 月 31 日までの間に公益社団法人東京都医師会、公益社団法人東京都薬剤師会（以下「2 師会」という。）を通じて収集した 6 事例 7 製品について検討を行った。

検討の結果、緊急調査等が必要な事例はなかった。

うち 2 製品については、海外製のカプセル形状の健康食品であり、その大きさが日本人にとって大きく、喉に引っ掛かり炎症が生じたことが原因と考えられた事例であった。そのため、患者対応時の参考として 2 師会へ情報提供することとなった。

その他の製品については、健康食品の摂取状況等の情報が不十分であること、製品名・原材料が不明であること等から、健康食品と症状との因果関係は不明であり、今後同様の事例の発生状況について注視するとともに、事例解析などに役立てていくという結論になった。

また、専門的な知識を有する者であっても、健康食品に病気の改善を期待して利用していた事例がみられたことから、健康食品に関する正しい情報の発信の重要性について意見が挙がり、東京都での普及啓発事業の参考とすることとした。

（2）事務局からの報告事項

ア　東京都医師会及び東京都薬剤師会への協力依頼の実施について

（令和 7 年度第 2 回「健康食品」による健康被害事例専門委員会終了後の資料送付）

令和 7 年度第 2 回当専門委員会で検討の結果、１事例（肝機能障害）について、２師会に対して患者対応時の参考としていただくと共に同様の事例がないか積極的な聞き取りを依頼した。

また、１事例については、健康食品を中止するまでの対応が的確な事例として、２師会へ情報提供した。

その他の当専門委員会で検討した１２事例における症状別件数について、２師会に対して情報提供した。

さらに、健康食品を利用する方が、医師・薬剤師とのコミュニケーションに使用できる「健康食品手帳」について、東京都ホームページで公開していることを改めて周知した。

イ　収集事例の集計結果について

平成 18 年 7 月 1 日から令和 8 年 5 月 31 日までに収集した事例の集計結果は、下表（抄）のとおりである。

健康食品との関連が疑われる健康被害事例の集計結果（抄）

ア　収集事例の累積

報告数（件）	患者数（人）
585	484

イ　利用目的の年代別分布（複数報告あり）

	ダイエット・美容	腰痛・関節痛	栄養補給	健康維持・健康増進	病気の改善	美容	便秘	血流改善	婦人科疾患改善	血圧改善	美肌	血糖値改善	肝機能改善	病気の予防	強精	筋肉増強	免疫賦活	パストアップ	その他・不明	年代別患者数
10代	3	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
20代	23	1	5	1	4	4	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	3	21	66
30代	22	0	8	4	1	7	1	1	3	0	5	0	1	0	1	0	0	0	25	79
40代	23	2	7	6	3	5	3	1	4	1	1	1	0	1	2	0	0	0	22	82
50代	11	13	27	9	2	4	4	1	1	2	2	1	2	2	0	1	2	0	40	124
60代	9	21	16	15	7	1	6	3	1	4	1	0	0	2	1	2	2	0	39	130
70代以上	11	57	28	14	9	3	9	7	2	5	1	6	5	1	0	2	0	0	74	234
不明・記載無し	4	1	1	3	0	1	1	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	43	59
合計	106	95	94	52	26	25	24	17	12	12	12	9	8	7	5	5	4	3	266	782

・20～40 代はダイエット・美容、50 代以上は腰痛・関節痛、栄養補給が多い。

・50 代以上の報告が多い。

ウ　性別

性別	患者数(人)	構成比(%)
女性	351	72.5
男性	127	26.2
記載無し	6	1.2
合計	484	100.0

エ　医師の診察の有無

医師の診察の有無	患者数(人)	構成比(%)
有り	277	57.2
無し	126	26.0
不明・記載無し	81	16.7
合計	484	100.0

オ　基礎疾患の有無

基礎疾患の有無	患者数（人）	構成比(%)
有り	275	56.8
無し	143	29.5
不明・記載無し	66	13.6
合計	484	100.0

カ　基礎疾患に対する治療薬の有無

基礎疾患に対する治療薬の有無	患者数（人）	構成比(%)
有り	213	77.5
無し	16	5.8
記載無し	46	16.7
合計	275	100.0

（母数：基礎疾患のある 275 人）

キ　症状・異常所見等（複数報告あり）

症状・異常所見等	報告数（件）
皮膚症状（発疹・発赤・掻痒）	143
胃痛・胃部不快感・吐気	101
下痢・軟便	59
肝機能障害、肝機能検査値異常	56
血液検査異常（肝機能以外）	51
便秘	19
倦怠感	9
出血、出血傾向	9
頭痛	9
めまい・ふらつき	8
下腹部痛、子宮出血	5
その他	77
合計	546

（母数：484 人）

・なお、症状・異常所見等と製品との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものである。

東京都食品安全情報評価委員会
「健康食品」による健康被害事例専門委員会　委員名簿
（五十音順・敬称略）

令和８年５月現在

No.	氏　名	所属
1	朝倉　敬子	東邦大学医学部社会医学講座　予防医療学分野　教授
2	小林　弘幸	公益社団法人東京都医師会　理事
3	千葉　剛	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部　第四室　室長
4	町田　奈緒子	公益社団法人東京都薬剤師会　理事
5	水谷　太郎	公益財団法人日本中毒情報センター　代表理事
6	山口　正雄	帝京大学ちば総合医療センター　第三内科（呼吸器）教授
7	山口　隆司 （座長）	特定非営利活動法人国際生命科学研究機構　特別顧問